



## 開催の主旨

W20 (Women 20) はG20のエンゲージメントグループの一つで、女性のエンパワーメントを目的として、G20および各国に提言を行い、ジェンダー平等とエンパワーメントの促進に寄与する存在です。2022年の主催国インドネシアを中心に、W20は、女性の経済的エンパワーメントの重要課題である、labour, finance, digital, healthなどのテーマとともに、Rural Womenを提起し議論を重ねてきました。今回、東北、宮城の女子大学から、W20の活動と地域女性のエンパワーメントの課題を発信します。学生、市民とともに女性の経済的・社会的活動と連帯について考えていきましょう。

(Women20 Japan delegates, Rural Women WG)

## プログラム

開会挨拶 今林 直樹 宮城学院女子大学教授 学芸学部長

趣旨説明 天童睦子

報告 W20 Japan delegates, Rural Women WG

### 1. 「W20の役割と機能—経済的エンパワーメントはなぜ重要か」

小安 美和 Miwa Koyasu 株式会社Will Lab 代表取締役 (W20 日本代表団co-chair)

### 2. 「W20の新動向—環境、人権、障害」

織田 由紀子 Yukiko Oda JAWW (日本女性監視機構) 副代表

### 3. 「地方にくらす女性の可能性—宮城からの発信」

石本 めぐみ Megumi Ishimoto 特定非営利活動法人ウィメンズアイ 代表理事

### 4. 「災害女性学とエンパワーメント・モデル」

天童 睦子 Mutsuko Tendo 宮城学院女子大学 一般教育部 教授

コメンテーター 今林 直樹 (政治学) ほか

## W20の活動

W20 (Women20) は、G20 に向けて女性に関する政策提言を行う G20 公式エンゲージメント・グループの一つです。さまざまな市民社会のステークホルダー (研究機関、ビジネス、市民NPOなど) の代表が、女性の経済的エンパワーメントを目的としてG20に提言を行うとともに、G20におけるジェンダー分野でのコミットメントをモニタリングする役割があります。日本は2019年G20主催国で、同年3月第5回国際女性会議WAW!/W20を東京にて開催しました。

W20は2019年、「Closing the Gender Gap for New Prosperity」をテーマに掲げて活動し、「ジェンダー平等は、経済成長及び公正で持続可能な発展のために極めて重要である」とする声明を全面的に支持し、G20の首脳に以下の提言の実施を要請するコミュニケ (共同 声明) を、2019年3月23日に内閣総理大臣に手交しました。2020年サウジアラビア、2021年イタリアを経て、2022年の主催国はインドネシアで、女性の経済的エンパワーメントの重要課題に、新たにRural Women、Women in Disabilitiesが加えられました。

W20 is an official engagement group that proposes policy recommendations related to women for the G20.

Other engagement groups are B20 (business), C20 (civil society), L20 (labor), S20 (science), T20 (think tank), and Y20 (youth). Engagement groups influence G20 leaders to create new international economic order by making policy recommendations.

参照: <https://w20japan.org>

[https://www.gender.go.jp/international/int\\_kaigi/int\\_g20/](https://www.gender.go.jp/international/int_kaigi/int_g20/)

## W20 日本代表団 Rural Women Working Group2022 メンバー紹介



小安美和 (こやす みわ) W20 delegate, Japan, Co-Chair

株式会社Will Lab (ウィルラボ) 代表取締役、内閣府共同男女参画推進連携会議有識者議員、岩手県釜石市 地方創生アドバイザー、株式会社ラポールヘア・グループ 社外取締役。日本経済新聞社勤務等を経て、(株)リクルートジョブズ執行役員 経営統括室長 兼 経営企画部長。2015年よりリクルートホールディングスにて、「子育てしながら働きやすい世の中を共に創るiction!!」プロジェクト推進事務局長。2016年3月同社退社、6月 スイス IMD Strategies for Leadership (女性の戦略的リーダーシッププログラム) 修了。2017年3月 株式会社Will Lab設立。

織田由紀子 (おだ ゆきこ) W20 delegate

JAWW (日本女性監視機構) 副代表、SDGs市民社会ネットワーク ジェンダーユニット共同幹事。専門分野: ジェンダーと開発、環境。元アジア女性交流・研究フォーラム研究員、元日本赤十字九州国際看護大学教員、元JICAタイ国人身取引被害者保護・自立支援促進プロジェクト専門家他。国連女性の地位委員会、持続可能な開発会議などの国際会議への参加の経験がある。共編著『東南アジアのNGOとジェンダー』明石書店 (共編著 田村慶子) 2004年、『持続可能な開発目標 (SDGs) におけるジェンダー視点の主流化に関する研究』アジア女性・研究フォーラム調査研究報告書、2019年など。



石本めぐみ (いしもと めぐみ) W20 delegate

NPO法人ウィメンズアイ 代表理事。東北の次世代女性リーダー育成「グラスルーツ・アカデミー東北」主催。和歌山県出身。東京大学大学院「人間の安全保障」プログラム修士、博士課程在籍。著書に「人間の安全保障を求めて 東日本大震災被災者のための仮設 住宅における支援活動の現場から」(共著) 2014 Human Security 文庫

天童睦子 (てんどう むつこ) W20 delegate

宮城学院女子大学・一般教育部・教授 博士 (教育学) 専門 女性学、教育社会学。仙台市出身。国際ジェンダー学会元会長、日本学術会議連携会員、日本教育社会学会理事。近著に『災害女性学をつくる』(共編著) 2021、生活思想社、『女性のエンパワメントと教育の未来』2020、東信堂など。

